

# かまし No.30

Gikaidayori Kamashi

平成 25 年(2013)11 月 1 日

**議員定数を 2 名減！ 18 名に**

**2P**

かけがえのない資源地下水を守る・9月補正予算

**3P**

**委員会審査結果報告**

**4P**

人事案件・意見書・請願

**6P**

**議決結果一覧**

**7P**

**いっばん質問**

**8P**

**委員会の動き**

**14P**

おしえてかましちゃん

**15P**

平成 24 年度決算 6 会計を認定

**16P**



# 議員定数を2名削減 18名に！



**嘉麻市議会の議員  
の定数を定める条例  
の一部を改正する条  
例の一部を改正**

9月定例会最終日に、議員18名の連名により、近隣類似団体の議会議員の定数に近づけるため、次回の一般選挙から嘉麻市議会の議員の定数を「20名」から2名削減し「18名」とする議案が提案され、出席者全員で可決しました。

## 事実上の4名減

平成24年3月定例会において、現在の議員定数「22名」を嘉麻市の行政改革を率先垂範するため、次回の一般選挙から「20名」とする条例改正を行いました。が、今回の改正は、その条例が施行される前に、定数を改正し、「18名」とするもので、現行の定数から比較すると事実上、4名の削減となります。

現在の議員定数

「22名」

平成24年3月改正

「20名」 ※未実施

今回の改正

「18名」

**類似団体と同等に**  
県内の人口規模が同等（4〜5万人）の自治体の状況は

中間市 19名

筑後市 19名

みやま市 19名

などとなっています。

※一般選挙とは…

地方公共団体の議会の議員の定数全員について行う選挙のことをいいます。

一般選挙は、議員の任期、議会の解散、市町村の設置などによって議員が全ていない場合に行われるもので、議員に欠員が出た際の補欠選挙は含まれません。

# かけがえのない資源

# 地下水を守る

## 地下水採取規制条例を制定

市内における地下水の枯渇及び地盤の沈下を防止するため、地下水の採取について必要な規制を行うことにより、市民生活にかけがえのない資源である地下水を将来にわたって保全し、もって市民の健康で文化的な生活に寄与するため地下水採取規制条例を制定します。

この条例の施行後は、**指定区域内において、一般家庭の飲料水その他生活用水に供するための井戸及び農業のかがい用の井戸を除いて、井戸を設置する者及び現在設置している者が対象となり、市長の許可または市長への届出が必要となります。**

## 地下水採取規制地域の指定

規制地域の指定は、過去に請願書が採択された経過もあり、旧嘉

穂地区あるいは嘉穂地区の中の水道未給水区域等を想定しているとの説明がありました。最終的には市長が環境審議会の意見を聴いて決定します。

## 罰則等の規定

罰則は、検察庁との協議を経て、最高額を50万円と定めています。

## 罰金50万円

無許可で第1種井戸（吐出口の断面積が6㎤を超えるもの）を設置した場合、第1種井戸の許可をしたときに市長が特別に付した条件に違反したときなど

## 罰金30万円

第1種井戸の許可申請に偽りがあった場合、第1種井戸の設置後15日以内に設置届け及び検査を受けなかった者など

※このほか5万円以下の過料・両罰規定なども規定されています。

# 9月補正予算

一般会計 4億8,529万3千円増額

総額 266億8,319万2千円

国民健康保険特別会計 9,294万7千円増額

総額 61億5,567万9千円

後期高齢者医療特別会計 補正なし

総額 6億3,598万2千円

介護保険特別会計 1,729万9千円増額

総額 57億887万3千円

住宅新築資金会計 補正なし

総額 2,527万円

水道事業会計 補正なし

収益的支出 6億5,522万8千円

資本的支出 3億7,001万9千円

総額/5億9,553万9千円増額の 402億3,424万3千円

## 一般会計補正の主なもの

(歳入)

農地農業用施設災害復旧費補助金

1,000万円増

財政調整基金繰入金 1億8,542万1千円増

市債(借金)

2億4,280万円増

(歳出)

ケーブルテレビ支障幹線移転等工事

433万7千円増

道路ストック総点検業務委託料

3424万7千円増

農地農業用施設災害復旧工事 5,350万円増



災害復旧工事予定地(泉河内)

# 委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の  
審査や活動を報告します。

(各委員会で付託された議案の審議結果は8ページ)



永水委員長



田上副委員長



田中委員



田中委員



赤間委員



宮原委員



中村委員

## 総務財政委員会

市民がわかりやすい  
内容で周知を

嘉麻市税条例の  
一部を改正する条  
例・国民健康保険  
税条例の一部を改  
正する条例

市税条例の主な改正  
内容は、公的年金等の  
所得に係る個人の市民  
税の特別徴収において、  
公的年金等の納税義務  
者が市町村の区域外に  
転出した場合に、現行  
では特別徴収から普通  
徴収に切り替えて徴収  
を行っているものを、  
今回の改正により、引  
き続き特別徴収の方法  
で徴収を行うことや、  
年金所得に係る仮特別  
徴収税額等において、  
税額の算定方法の見直  
しを行い、年間の徴収  
税額の平準化を図るこ  
тоなどです。

また、国民健康保険  
税条例の主な改正内容  
は、株式等に係る譲渡  
所得等の課税の特例に  
おいて、株式等を一般  
株式等と上場株式等に  
区分することなどです。

委員より、市税条例  
の施行期日が平成28年  
1月1日以降と、2年  
から3年後の施行に  
なっていることに関す  
る質問に対し、地方税  
法施行令等の上位法の  
施行期日にあわせて期  
日を定めているが、周  
知期間が必要であると  
いう理由で期日が定め  
られているとの回答が  
ありました。

委員からは、今回の  
改正内容は非常に分か  
りづらいので、市民が  
理解できるように内容  
で周知を図ってもらい  
たいとの要望がありま  
した。

審査の結果、全会一  
致で採択しました。



# 民生文教委員会

## 統合後の学校施設の有効活用

### 嘉麻市嘉穂地区公民館足白分館の移設に関する請願書

本請願は、現在の嘉穂地区公民館足白分館は、築50年を経過し老朽化も進んでいるため、来春廃校となる足白小学校の跡地利用とあわせて地元で協議を重ねた結果、地域コミュニティ強化、地域の活性化のため、足白分館を廃校後の足白小学校校舎に移設し、移設後は現在の分館を解体・撤去することを求めるものです。

また、足白小学校区での意見交換会の意見も学校施設を足白分館として使用する意見が多数を占め、空き教室の活用についても、果樹園の経営者から、後継者に不安があるので、後継者育成の研修施設としての活用案や果樹などの加工販売施設の活用案など多数意見が出ているとの報告があ

りました。

委員より、移設に関する市長の考えを問う質問に対し、統合後の学校等の施設は、更地にしないと相当な維持管理費がかかるという専門家の意見を聞いたことがあり、住民の意向は尊重しなければならぬと考えるが、足白小学校に限らず、将来の維持管理費、高齢化など総合的に検討し判断する必要がある旨の回答がありました。審査の結果、全会一致で採択しました。



嘉穂地区公民館足白分館

# 産業建設委員会

## 子育て世代の定住促進を図る

### 嘉麻市定住促進住宅条例について



本案は、市内に定住しようとする者に対し、良質な賃貸住宅を提供することにより、定住の促進と人口の増加を図り、市の活性化に資することを目的として、定住促進住宅を設置するため提案されたものです。

また、入居者の資格は、所得月額が15万8000円以上、同居の親族があること、夫婦の年齢の合計が80歳以下であること、また、配偶者がいない子育て世帯の場合は、中学校を卒業するまでの子どもがいる世帯を対象としています。

委員より、入居後一定の期間が経過し、引き続き居住する場合は譲渡できるとしているが、入居申し込み時その説明をすることの質問に対し、今後具体的に協議を行う必要



定住促進住宅建設予定地

があるが、予定としては10年とし、10年経過したら建物を譲与したいと考えている。その場合、土地については分譲価格で購入してもらいたいと考えているので、申し込み時にその案内も行いたいとの説明がありました。また、市外の方も入居の対象になるのかとの質問に対し、市内の方が入居すれば人口流出抑制の対策になり、市外の方が入居すれば人口増につながるため、どちらも対象にしているとの回答がありました。審査の結果、出席者全員で可決しました。

# 人事案件

人権擁護委員の任期満了に伴い、次の方を推薦することについて全会一致で同意しました。

## 再任

森田 洋子氏（稲築）  
深川 貢氏（稲築）

## 新任

中嶋 時夫氏（稲築）  
山口 朝光氏（碓井）

# 意見書

**過労死防止基本法の制定を求める意見書**

過労死が増加する一方で、その防止には個人や家族、個別企業の努力だけでは限界があるので過労死に関する調査・研究を行うとともに、総合的な対策を行うことなど3項目を盛り込んだ法律の早期制定を国に要望するものです。

（全会一致・可決）

**TPP交渉からの即時脱退と情報公開を求める意見書**

国民に対する十分な情報提供や国民的な論議、合意形成もないうまま、TPP交渉を続けるべきでなく、TPP交渉からの即時脱退を決断することなど2項目の実現を国に要望するものです。

（全会一致・可決）

**福岡県が嘉麻市・熊ヶ畑地区内産業廃棄物安定型最終処分場の掘削調査時、立会を求める意見書**

福岡県が産業廃棄物安定型最終処分場掘削調査を実施する時、嘉麻市議会、嘉麻市及び地域住民が立会できることを求めるものです。

（全会一致・可決）

**地方税財源の充実確保を求める意見書**

地方交付税の増額による一般財源総額の確保について5項目、地方財源の充実確保について7項目、計12項目の実現について国に強く求めるものです。

（全会一致・可決）

# 請願

**嘉麻市嘉穂地区公民館足白分館の移設に関する請願書**

現在の嘉穂地区公民館足白分館は、築50年を経過し老朽化も進んでいるため、来春廃校となる足白小学校の跡地利用と併せて地元で協議を重ねた結果、地域コミュニティ強化、地域の活性化のため、足白分館を廃校後の足白小学校校舎に移設し、移設後は現在の分館を解体・撤去することを求めるものです。



足白小学校

# 議案の結果一覧（9月定例会）

○・・・全会一致  
 △・・・賛成多数  
 ※・・・討論あり

各委員会で審査された議案を本会議で採決した結果

総務財政委員会		
議案第48号	法改正に伴い、市税条例の所要の改正を行う	○可 決
〃 第49号	法改正に伴い、国民健康保険税条例の所要の改正を行う	○可 決

民生文教委員会		
請願第49号	地下水の枯渇及び地盤の沈下を防止するため、地下水の採取について必要な規制を行う	※○可 決
〃 第50号	法改正に伴い、後期高齢者医療保険料の延滞金を市税に準じた取り扱いとする	○可 決
〃 第51号	法改正に伴い、介護保険料の延滞金を市税に準じた取り扱いとする	○可 決
請願第3号	老朽化した嘉穂地区公民館足白分館を廃校後の足白小学校に移設することを求める	○採 決

産業建設委員会		
議案第47号	定住の促進と人口の増加を図るため、若い子育て世帯向けの定住促進住宅を設置する	○可 決
〃 第46号	寄附を受けた山田地区三菱第一の道路敷きを新たに市道路線として認定する	○可 決
〃 第47号	碓井地区下臼井西の千手川河川堤防の道路舗装新設工事に伴い新たに市道路線として認定する	○可 決

予算特別委員会		
請願第55号	平成25年度 一般会計補正予算（第3号）	○可 決
〃 第56号	平成25年度 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○可 決
〃 第57号	平成25年度 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○可 決

決算特別委員会		
認定第1号	平成24年度 一般会計歳入歳出決算の認定について	※○認 定
〃 第2号	平成24年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第3号	平成24年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第4号	平成24年度 住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第5号	平成24年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第6号	平成24年度 水道事業会計決算の認定について	○認 定

嘉穂地区小学校統合施設整備に関する調査特別委員会		
議案第51号	嘉穂小学校開校に伴い、スクールバス10台を購入する	○可 決

# いっぱん質問

## 行政の巻を問う



廣方 悟 議員  
八丁峠トンネル完成に向けての新しいまちづくり計画について 9P

赤間 幸弘 議員  
高齢者対策について 9P

浦田 吉彦 議員  
学校がなくなる。その後は 10P

山倉 敏明 議員  
教育行政について 10P

藤 伸一 議員  
学校・保育所の芝生化について 11P

山本 幹雄 議員  
産業振興行政について 11P

岩永利勝 議員  
防災対策について 12P

中村 春夫 議員  
熊ヶ畑地区がけ崩れの復旧について 12P

田淵千恵子 議員  
市の活性化について 13P

田中 義幸 議員  
D-STB導入時の付帯工事について 13P

田上 孝樹 議員  
学校給食のアレルギー事故防止について 14P

14P

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

## 赤間 幸弘 議員

高齢者対策について



**問.** 要支援予防給付軽度介護が地元自治体に完全移行とあるが…

**答.** 要望活動等で反対をしていく 赤間議員姿勢である。

**質** 本市の高齢者人口と介護保険の要支援・要介護者数は、

**松岡高齢者介護課長** 平成25年8月31日現在、人口42181人、65歳以上13292人、高齢化率31.5%である。要支援者996人、要介護者2213人で、認定数は3209人、認定率は24.2%である。

**質** 本市の介護保険料は基準月額6500円であるが、福岡県・全国と比較するとどうか。

**高年齢者介護課長** 平成24年4月1日現在、福岡県内で一番高く、全国では5番目である。

**質** 認定率が24.2%ということはない。この方々が介護保険を利用するようになれば給付費が上がり、当然、介護保険料が上がるということが予想される。「要支援予防給付軽度介護、2017年度中までに市町村に完全移行」という新聞報道もあり、

財源状況が厳しい本市では他自治体とのサービスマグ差が懸念される。本市の特別会計における要支援・要介護者の介護給付費の状況は、

**高年齢者介護課長** 要支援の給付費は3億6101万7078円、要介護の給付費は4億3065万5371円である。

**質** 健康課及び高齢者介護課では独自事業を展開している。財源措置は決定していないが、

3億円超が単費になると財源不足が懸念されるが。

**松岡市長** 社会保障国民会議の報告案については、全体的に趣旨は賛同する。ただし、全国一律のサービスを取りやめる案であり、財政状況が豊かな自治体は良いが、嘉麻市のような財政状況が厳しい自治体にとっては非常に厳しい。近隣自治体・福岡県市長会・九州市長会等と連携を取



り、国に対し要望活動等を行い反対していく姿勢である。

## 廣方 悟 議員

八丁峠トンネル完成に向けての新しいまちづくり計画について



**問.** 新しい風、歴史の変革に合わせた具体的な計画を

**答.** 特に工場団地の調査等について 廣方議員では早急に26年度でやっていきたい

**質** 八丁峠トンネル開通は、標高1000m近くの自然の山々の要塞に阻まれ、産業、文化、あるいは高速インフラまでの地理的不利な条件を解消し、企業誘致など新しい戦略がたてられる。そこで、トンネル工事の概要と供用開始時期はいつごろか。

**山倉土木課長** トンネル延長は3.8km、甘木ICまで35分、供用開始予定は平成30年を

目標に進められている。

**質** 産業、文化の交流できる大動脈(国道322号八丁峠トンネル)の完成が5年後に現実のものとなる。今後、具体的な嘉麻市のまちづくりについて基本的な戦略を練っておく必要がある。そこで、嘉麻市の工場団地の現状はどうなっているのか。

**秋山産業振興課長** 市内の工場団地は完売済みである。

**質** 工場団地構想なく

しては、日々の企業誘致活動も無意味であり、団地構想計画の具体的な調査等を進めるべきである。

**山口産業建設部長** 平成26年度中に予算措置の方向で進めたい。

**広域(朝倉市)観光ルートづくりについて**

**質** トンネル開通により朝倉市(秋月地区)と嘉麻市は数分の隣町になり、史跡、祭りなど共通する資源も数多くある。また、NHK

大河ドラマ軍師官兵衛の放映もまたとないチャンスであり、広域的なまちづくりについて具体的協議を朝倉市と進めるべきである。

**産業振興課長** 史跡、イベント等を活用して協議を重ねていく。

**質** 筑後平野からの新しい風、歴史が変わるまちづくりの計画に具体的な予算措置を。

**松岡市長** 市民に夢と希望が持てる、特に工場団地の調査等につい



工事が進んでいるトンネル入口付近

ては早急に平成26年度でやっていきたい。

## 山倉 敏明 議員

教育行政について

**問. 道徳教育の充実に向けての取り組みをどのように進めているのか**

**答. 規範意識を身につけることを中心に進める**

**質** 5年後、10年後の児童生徒数の変動等を考慮した嘉麻市の学校教育のあり方について、学力や体力、道徳教育、不登校、いじめ、学校の再編また校区の再編について質問する。初めに学力の現状について。

**平田学校教育課長** NRT学力テストを本年4月に小学2～6年生を対象に国語、算数の2教科を実施し、総合で県平均50ポイントのところ49・8ポイントとわずかに届かなかったが、昨年よりポイントアップした。この成果は、2点の取り組みが有効だったと考える。1点目は全学年30人以下学級にしたこと。児童の現状を把握でき、個に応じた細かな指導が可能になってきた。2点目は夏季の補充学習を大学生や地域の方の学習サポーターを活用し、個別指導を行ったことにより、子ども

自身が課題克服に向けて意欲的に取り組むようになった。

**質** 道徳教育について尋ねる。文科省は「児童生徒が生命を大切にすることを心や他人を思いやる心、善悪の判断の規範意識等の道徳性を身につけること」と示している。人は生きていく上で道徳心を持つて生きていくことが必要であり、幼少からの道徳教育が極めて大切と考

えるが、教育委員会として道徳教育の充実に向けての取り組みをどのように進めているか。

**秋吉教育部長** 規範意識、決まりを守るとか、社会上のルール、物事の是非を学校がきちんと時間をかけて、一人ひとりに行きわたるような教育実践を行ってきた成果が表れてきている。今後も教育委員会として、道徳教育の中でも特に規範意識を身につけることを中心に進めていきたいと考



えている。

## 浦田 吉彦 議員

学校がなくなる。その後は

**問. 5小学校閉校後の跡地利用はなる**

**答. 地元とも十分協議し、総合計画で対応する**

**質** 嘉穂地区5校閉校後の跡地利用について聞く。九大、九工大、近大などの学生にアイデアを募ったり、大学の研究施設、宿泊、合宿施設や市営住宅など色々な利用法が考えられる。また、体育館は避難場所にもなるが、熱中症になったり凍えるような施設では困る。早急に整備すべきではないか。

**畑嘉穂小学校開校準備室長** 近隣の大学等で学校跡地を研究施設に活用した例がないか調査する。跡地活用検討委員会で地域の活性化につながる跡地利用計画を早急に策定する。

**秋吉教育部長** 来年3月が基準日となり大きな用途変更や内容の変更を伴うので、市長部局ともしっかりと調整しながら、地元の皆さんのご意見も聞きながら進める。

**栗野教育長** 跡地の活用に関わる意見、要望

を整理し、市長部局と調整を図りながら総合計画等にかかわる部分についても協議する。

**イノシシ・シカ対策について**

**質** イノシシ・シカ対策で国の補助は2年延長されたが、「3戸以上が対象」とする規定で一番被害を受けている山間地などが残っている。かつて旧嘉穂町では、1戸でも町道舗装をするようにした。市の政策として、同じ

税金を払っているのだから、国の対象にならない地区を整備すべきではないか。

**松岡市長** 条例にするかどうかは別に、とにかく1戸であっても営んでおられるわけで、その対応はしなければならぬというのが基本と思う。

**質** ハムや燻製の件はその後どうなっているか。

**秋山産業振興課長** 現在製作中で、9月下旬頃には道の駅うすいで



廃校後の学校施設は？

試験販売する予定。ペンションりんご村ではハンバーガーを開発、9月から提供している。

## 山本 幹雄 議員

産業振興行政について



### 問. 県下最低域の地方税及び人口減少にどう対応するか

答. 嘉麻工場団地(仮称)の建設に 山本議員  
取組みたい

**質** 地方税収入は23年度決算で県下最低域、22年度国勢調査では人口減少が筑豊地域で最も多く5年で3322名、減少率では7・23%と福岡県下ワースト4位、この事と企業立地の関係はどう考えるのか。

**質** 嘉麻市の工場団地は完売状態で、造成済の工場団地はないとのことだが、昨年度に国道322号整備促進を要望し、その中に計画されている嘉麻工場団地(仮称)の内容は。

**質** 地方税の減及び人口減少を踏まえ、工場団地についてどう考えるのか。

**質** 嘉麻市の工場団地は完売状態で、造成済の工場団地はないとのことだが、昨年度に国道322号整備促進を要望し、その中に計画されている嘉麻工場団地(仮称)の内容は。

**質** 防護柵について、今後の事業予定はどうなるのか。

**質** 産業振興課長 今年度事業として市内41地区、約55Kmを予定しているのか。

**質** 市道拡幅について

**質** 嘉穂中学校横の道路拡幅についてどうなっているのか。

**質** 山倉土木課長 工事延長680m、道路幅員8・5m(車道幅員6・5m歩道幅員2・0m)、今年度用地契約完了を目標として、工事の実施計画は26年度から3カ年の予定だ。 ※他に国民健康保険制度についても質問しました。



千手地区322号バイパス

## 藤 伸一 議員

学校・保育所の芝生化について



### 問. 芝生化の取り組みの進捗状況は。

答. 年次的に計画して取り組んで 藤議員  
いく。

**質** 過去において2回、芝生化の実施に向け質問したが、現在の進捗状況は。

**質** 今後、保育所全体で芝生化に向け、どのようを進めていくのか。

**質** 日々の健康づくりを目的に、実践記録のポイントを貯め、ポイントを利用できる「健康マイレージ」を実施している自治体があるが、この事業の取り組みの考えは。

**質** 学校現場での緊急搬送時の情報提供のための「子ども安心カード」の導入の考えは。

**質** 秋吉保健福祉部長 健康づくりに関して、健診の受診率の向上や、生活習慣の改善に自発的な取り組みを促進する効果が期待できる。

**質** 松岡市長 嘉麻市の実態に応じた「健康マイレージ」を考えていく。

**質** 子ども安心カードの導入について

**質** 学校現場での緊急搬送時の情報提供のための「子ども安心カード」の導入の考えは。



芝生化を進めている鴨生保育所

## 中村 春夫 議員

熊ヶ畑地区がけ崩れの復旧について

### 問. 工事の計画はどうなっているのか

答. 本年度中に測量設計を行い、来年度工事を行いたい



中村議員

**質** 熊ヶ畑堀川地区の大雨によるがけ崩れの復旧工事の計画はどうなっているのか。  
**山倉土木課長** 急傾斜地崩壊対策事業として県に申請をしているので、県の回答があり、事業が固まり次第、本年度中に測量設計を行い、来年度工事を行いたいと考えている。  
**産廃行政について**  
**質** 百々谷産廃場の超過搬入量の撤去について、その後は。

**安陪環境課長** 県の廃棄物適正処理推進室によると、地権者が覆土の計画を作成中であると報告を受けている。  
**質** 百々谷産廃業廃棄物中間処分場の保管量の超過については。  
**環境課長** 県は改善命令を12月13日まで延長し、継続して撤去作業を行わせるのとこととで、撤去も順調に進んでいるようだった。

**環境課長** 相変わらず審査中とのことと県からの新たな情報はない。  
**質** 県の熊ヶ畑産廃場への立ち入り調査報告書については。  
**環境課長** 保健所に請求し、昨年7月から今年4月までの分を入手したが、特に異常はみられない。  
**質** 同産廃場の営業許可期限は12月26日までだが、更新申請はなされているのか。

**環境課長** 8月末時点で、申請はなされていないが、事前協議は始められている。  
**質** 県が本年度から実施する最終処分場の掘削調査について、今年12月までに熊ヶ畑産廃場の調査があると思う。先日、生命の水を守る会がその調査に立ち会えるよう市長と議長に要望書を出したが、市として県と業者に対し、立ち会いを要望する考えはないか。

**松岡市長** 県の権限で実施されるので、市としては調査は関与しない。



## 岩永 利勝 議員

防災対策について

### 問. 鴨生地区豪雨対策工事の進捗状況は

答. 来年度にかけて対策を実施する予定だ



岩永議員

**質** 工事進捗状況は、どうなっているのか。  
**山倉土木課長** ボタ山からの流出雨水の調整池が完成し、今回の豪雨に対して鴨生町の水害対策にある程度の効果を確認できたと思う。また、以前指摘のあったローソン付近の転倒堰の改修を計画している。  
**質** 先日の豪雨の際、私も現場に行つてボタ山から流れてきている雨水が調整池に入っているのを確認した。あ

の水が鴨生方面に流出していたら、また災害が発生していたのではなかと考える。そのほかプールと調整池の間からと庄内側からけやき坂へ雨水が流入し、道路が冠水していたが、対策は。  
**土木課長** 本年度中に調整池へ雨水を導く水路を計画している。来年度は、平野小児科付近の冠水の解消のため、パチンコメディア裏から旧ダイソーまでの水

路拡幅を予定している。  
**質** 飯塚市庄内から鴨生東町に流入する雨水に関しては、以前、飯塚市との話し合いで調整池ができることとなっていたが、進捗状況は。  
**土木課長** 設計、用地交渉も終了し、来年度工事に着手するということを聞いている。  
**質** 平東町の山間部3カ所から豪雨により流入する土砂水の治山堰堤設置申請を県へ提出していたがどうなつて

いるのか。  
**田中農林整備課長** 県と現地調査を行い、2カ所は崩壊がなく、1カ所は治山堰堤設置が検討され、26年度以降の工事実施のため本年度測量が行われる予定だ。  
**質** 地域により雨の降り方が異なるので、豪雨の際、消防団長の判断で出動できる体制をつくってほしいがどうか。  
**松岡市長** 消防団とも協議して検討したい。  
**※他に市民のスポーツ**



鴨生地区調整池

文化活動に対しての報奨制度について質問しました。

## 田中 義幸 議員



D-STB導入時の付帯工事について

**問. モデム、追加のD-STB導入時の付帯工事の精査表はださせるのか。**

**答. 情報公開できる内容で出してもらう。**

**質** D-STB2500台の時は、同軸ケーブル、分配器、AVコードを交換せずにHDMIケーブルをつけたため設計増とのことだった。精査表の情報公開を求めたが出来なかった。再調査できるか。

**篠崎地域情報課長** 確認作業はすでであり、再調査はしない。ケーブルテレビ事業開始時から随伴で行っている委託業者選定は、指名競争入札にしたい。

**質** インターネットモデムも導入されている。この屋内設置工事の部品交換はされているか。

**地域情報課長** 最終的な確認はしていない。

**質** D-STB500台が追加されている。最初からHDMIケーブルを使っている。先ほどの理屈から言えば価格が高くなるが、契約金額は安かった。理解できない。付帯工事をしたかどうかの精査表は出させるのか。

**中嶋総合政策部長** 精査表は出してもらおう。

**質** 情報公開できる内容で出してもらいたい。

**総合政策部長** 言われた趣旨に基づき業者にお願います。

**地域防災計画について**

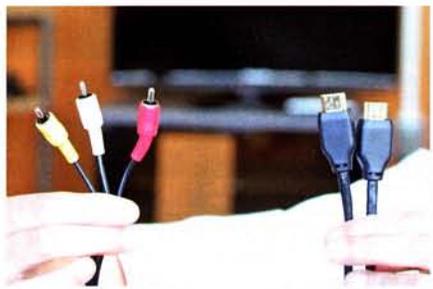
**質** 現在地域防災計画の見直しをしている。男女共同参画の視点からの取組はしているか。

**福田総務課長** 内閣府が示している男女共同参画の視点からの防災・復興の指針がある。

これを参考にしながら内容を検討している。

**質** 防災会議への女性割合を高めるための取組はどうする。条例改正し、さらに女性枠を2名追加することを提案する。

**総務課長** 女性委員の割合を高めるため、あて職については、女性職員を指名したい。委員の任期が、平成26年3月31日までだ。その時期に委員数及び構成も検討する。



AVコード(左)とHDMIケーブル(右)

※他に自主防災組織、防災無線、行政区長手当、市報の配布、健康維持について質問しました。

## 田淵 千恵子 議員



市の活性化について

**問. 嘉麻市をPRするには財源が必要**

**答. オール嘉麻市で取り組む**

田淵議員

**質** PR係設置の趣旨は、秋山産業振興課長 嘉麻市の知名度不足の解消やPR情報の二元化、交流人口増等を目的として設置され、市のPRと観光振興、観光まちづくり協議会に関する業務を行っている。

**質** 設置の効果は、産業振興課長 観光振興の要となる観光まちづくり協議会を設置し、アクションプランを策定した。昨年の実績としては、観光ポータル

サイトの開設、記者会見用バックパネルの製作、嘉麻の釜めしの発売、嘉麻市フェスタの開催、カマポロシャツの販売等だ。各事業がTV、新聞等で取り上げられ反響も大きい。また、企画調整課と連携、「かまししちゃん」を積極的に活用し、市外に向けてPRに努めている。

**質** 職員採用試験のキヤッチフレーズ「笑顔とやる気」、これは他市

にはない人材育成上目玉の施策と考える。そこで市のPRに貢献する各課の施策は。

**平田学校教育課長** 教育予算を手厚く措置し、中学3年生まで30人以下学級を実施。個々に目が届く指導と学力向上に取り組んでいる。

**坂本生涯学習課長** 移動図書館車、高校駅伝県予選、フットサル全国大会等の誘致、黒田官兵衛の特別展示そしてプロジェクトK等に

取り組んでいる。

**野見山子ども育成課長** 地域子育て支援事業や一時保育事業、病後児保育事業のほか、生涯学習課と連携し体力向上事業に取り組むほか、学童保育では6年生まで受け入れを行っている。

**大里健康課長** 乳児家庭全戸訪問事業、特定健診の普及啓発のほか介護予防に取り組んでいる。

**質** このような事業の

実施は財源が必要と考える、市長の考えは。

**松岡市長** 財政の健全化が重要課題。事業実施のため市民の皆さんとオール嘉麻市で取り組む必要がある。



カラーも豊富なKAMAポロ

田上 孝樹 議員



学校給食のアレルギー事故防止について

**問. 専門医を招いての研修、実施訓練を**

**答. 知識と経験のある講師による 田上議員  
研修会を実施していきたい**

**質** 昨年12月に東京調布市の小学校で、給食を食べた児童が急性症状アナフィラキシーショックの疑いで亡くなる痛ましい事故が発生した。アナフィラキシーショックが起きた場合、症状を緩和できる事故注射薬エピペンを児童生徒に代わって教師が打つこともできる。今回の事例では、学校側が打つタイミングが遅れたことが指摘されている。そこで、本市に

おける食品アレルギーとアナフィラキシーの症状を起こしたことがある児童生徒の人数は。 **平田学校教育課長** 食品アレルギーと診断された小学校児童は47名、中学校生徒は19名で、合計66名だ。過去アナフィラキシーの症状を起こしたことの児童生徒は8名で、このうちエピペンを処方している児童生徒は小学校1名、中学校1名だ。 **質** 食品アレルギーの

ある児童生徒に対し、学校給食はどのように対応しているのか。 **学校教育課長** その原因食品を保護者の要望により、原因食品を自分で除去、除去食の提供、代替食の提供、弁当の持参と4つのパターンで対応している。 **質** 細かく対応していることは理解できたが、万が一アナフィラキシーの症状を起こした場合、どのような対応になっているのか。

**秋吉教育部長** 食品アレルギーに対する危機管理マニュアルを作成し、それに基づいて行動することになっている。 **質** 養護教諭が中心となって研修をしているとのことだが、専門医を招いての研修や実施訓練の考えは。 **学校教育課長** テ専門的な知識と経験のある講師による研修会を実施していきたいと考えている。 **※他に母子寡婦福祉会**

について質問しました。



# 委員会の動き

総務財政委員会

8月21日  
閉会中の継続調査について

産業建築委員会

8月26日  
閉会中の継続調査について

民生文教委員会

8月5日  
閉会中の継続調査について

議会運営委員会

8月26日  
9月定例会の日程等について

嘉穂地区小学校統合  
施設整備に関する  
調査特別委員会

9月11日  
バスの買入れについて

議会改革に関する  
調査特別委員会

9月11日  
議会改革に関する事項について

情報漏洩に関する  
調査特別委員会

8月23日・9月11日  
情報漏洩に関する事項について

広報編集特別委員会

7月16日  
議会広報編集について  
7月19日  
議会広報編集について  
7月24日  
議会広報編集について

# おしえて かまししちゃん



※ このコーナーは、議会だよりの中や行政で使われているわかりにくい用語（専門用語）を説明します。

## 経常収支比率とは？

自治体の財政状況を分析するための指標の一つで、経常経費充当一般財源（人件費、扶助費、公債費などの毎年経常的に支出される特定の財源を持たない経費）を経常一般財源（毎年経常的に収入される一般財源）で割ったものです。

市では75%～80%くらいが良いとされており、嘉麻市は23年度決算で95・7%となっており、前年度は94・2%でしたので、若干、財政構造の弾力性が悪化したと言えます。

※16ページに関連記事

## 財政力指数とは？

基準財政収入額を基準財政需要額で割ったもので、1以上になると普通交付税が交付されない不交付団体となります。

地方公共団体の財政力を見る指数としてよく使われ、高ければ高

## 一般質問とは？

議員が、その属する地方公共団体の凝視全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来にわたる方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め又は疑問をたずさすことをいいます。

質問は、議案とは関係なく当該団体の行政全般について認められるもので、付議された事件に関し疑義をただす「質疑」とは本質的に異なります。

質問の対象、範囲は、当該団体の一般事務ですが、この一般事務とは地方公共団体の事務のほか法定受託事務にも及ぶと解されます。

また、一般質問は、定例会に限って許され、一般質問を行う場合は、質問の内容がわからないと執行機関の方で十分な準備ができず、議員にとっても満足な

## 意見書とは？

答弁しできないという問題が生じ、充実した議会運営ができないので、質問通告書を事前に提出することとなっています。

地方公共団体の公益に関する事件に関し、議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のことをいいます。

議会は、地方自治法第99条の規定にもとづき、当該地方公共団体の公益に関する事件につき、意見書を国会又は関係行政庁に提出することができます。

## 決議とは？

議会が行う事実上の意思形成行為で政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のことをいいます。

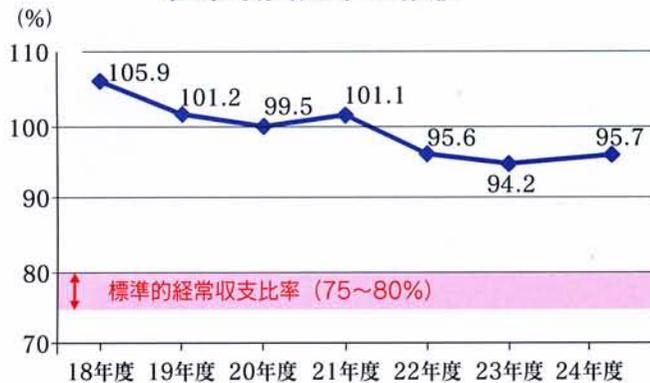
決議の多くは、単に政治的効果をねらった事実行為的な意思表示にすぎませんが、中には、特別委員会の設置、知事、市町村長の辞職勧告決議（不信任決議）、監査請求、100条調査等の決議のように法的効果が与えられるものもあります。



平成 24 年度

# 決算 6 会計を認定

経常収支比率の推移



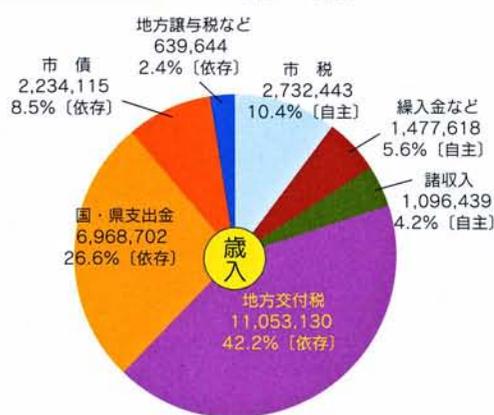
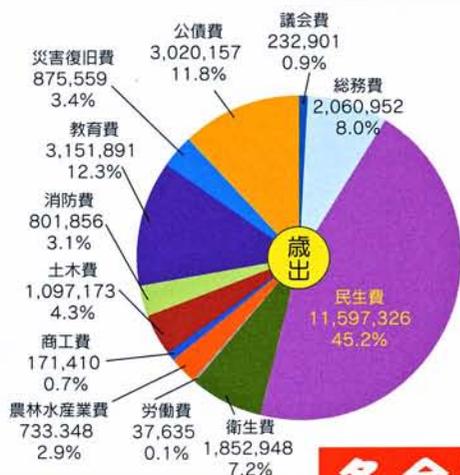
※経常収支比率の見方は 15 ページを御覧ください

決算特別委員会において、平成24年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。一般会計においては、歳入総額262億209万円、歳出総額256億3316万円とし、歳入歳出差引額は、5億6893万円です。市の財政状況としては、市税などの自主財源が20・2%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が79・8%と、他に頼った自治体運営となっております。

経常収支比率は、95・7%、財政力指数は0・26ポイントと、前年度より若干悪化した結果となりました。

審査の結果、6会計ともに認定されました。

## 一般会計決算の状況



## 各会計の決算額

	歳入	歳出	差引額	
一般会計	262億 291万円	256億3,316万円	5億6,893万円	
国民健康保険事業特別会計	53億9,105万円	57億6,805万円	△3億7,699万円	
後期高齢者医療特別会計	6億1,391万円	5億9,364万円	2,027万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	6,400万円	2,139万円	4,261万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億5,193万円	53億2,557万円	2,636万円
	サービス事業勘定	5,502万円	5,502万円	0
水道事業会計	収益的収支	6億4,159万円	5億8,509万円	5,650万円
	資本的収支	3億7,254万円	5億2,345万円	△1億5,091万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。